

科目名 Course Name	国語基礎教養 National language basics culture				ナンバリング No.	A2-009	
年次	1 年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	田村 眞依子						
連絡方法	C-Learning で対応。または本館 3 階研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1,DP2						
授業の概要と 到達目標	①これまで知らなかったことばや間違っ理解していたことばについて正しく理解し、高い語彙力を身につけるようにする。 ②インターネットからだけでなく、本や新聞に触れ、情報を得る幅を広げるようにする。 ③日本語の美しさを理解し、社会人として正しい表現ができるようにする。						
授業の方法	教科書を中心に講義と演習を交えながら進め、必要に応じてプリントを配布。ディスカッションやグループワークを取り入れながら、ことばの世界を広げていく。						
学習成果	L01	職業人として知っているべき語彙について理解し、読み書きの力を高めることができる。					
	L02	状況や相手に合わせてことばを使い分けることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	個別に添削をし、授業内で返却をする。小テストや期末試験は、授業内で解答を示し、フィードバックをする。						
教科書/ 参考図書	『大人の語彙力強化ノート』(宝島社)						
履修上の留意点 やルール等	辞書機能として使用する以外は携帯電話の使用を禁止する。 教科書を必ず購入し、毎回持参すること。 遅刻や私語など、授業の基本的マナーを守ること。 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分である。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	意欲的に授業に参加し、教員の指示する内容に取り組んでいる。	30			
レポート/作品	指定された内容について調べ学習を行い、まとめる。	10	10		
発表					
小テスト	復習内容を毎回確認する。1 回 10 問程度。	10	10		
試験	記述問題を中心に期末試験を行う。誤字脱字も減点の対象とする。	15	15		
その他					
合 計		65	35		

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション、意識調査
	事前・事後学習	教科書を用意し、全体に目を通す。シラバスを読んでおく。
2	授業内容	慣例・敬語表現(依頼、お礼)
	事前・事後学習	教科書を読み、初見の語彙の読みや意味をまとめる。
3	授業内容	慣例・敬語表現(お断り・反対する、お詫び、訪問)
	事前・事後学習	漢字講座①
4	授業内容	慣用句
	事前・事後学習	教科書を読み、初見の語彙の読みや意味をまとめる。
5	授業内容	言い回し
	事前・事後学習	漢字講座②
6	授業内容	ことわざ・故事成語 1～29
	事前・事後学習	教科書を読み、初見の語彙の読みや意味をまとめる。
7	授業内容	ことわざ・故事成語 30～58
	事前・事後学習	漢字講座③
8	授業内容	覚えておくべき外来語
	事前・事後学習	教科書を読み、初見の語彙の読みや意味をまとめる。
9	授業内容	日本語にしたほうがよい外来語
	事前・事後学習	漢字講座④
10	授業内容	四字熟語1～60
	事前・事後学習	教科書を読み、初見の語彙の読みや意味をまとめる。
11	授業内容	四字熟語 61～120
	事前・事後学習	漢字講座⑤
12	授業内容	言葉の由来
	事前・事後学習	教科書を読み、初見の語彙の読みや意味をまとめる。
13	授業内容	グループ発表
	事前・事後学習	漢字講座⑥。グループ発表の準備をする。その改善点を考える。
14	授業内容	やさしい日本語
	事前・事後学習	自分で探した資料や公用文などをやさしい日本語に書き換える。
15	授業内容	総まとめ
	事前・事後学習	教科書やプリントを見直し、期末試験対策をする。